発行月：平成 27年 3月　家族新聞　第375号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878

今から一千年前、華やかな宮中を舞台に、日本で現存最古の随筆集が生まれた。その名は「枕草子」作者は清少納言。

鋭い感性が描きだす、宮廷の雅、季節のきらめき、人の心の深いひだ。いま、時の扉を開いて、平安の世に旅立つ…

春は、あけぼの。夏は夜。秋は夕暮れ、冬は朝。春の夜明けのすばらしさ、夏は蛍が飛んで愉しい、秋は夕暮れ、月が両の山の端を染める頃、冬は早朝、こそおもしろい、雪の朝も霜の朝も、皮膚がヒリヒリするほど冷え徹る。

▲川南保育園年長組が作った「おひなさま」

「春はあけぼの」この一段で古典の魅力に気づかれる。古くいかめしさがなく現代感覚にみごとに通う新しさがある。自在にひろがる連想、決断のいさぎよさがくみとれる。「春はあけぼの」の一段がすばらしい。

清流のせせらぎを聞きながら心から寛げる癒しの宿。ホテル百年草

▶第一回愛知まちなみ建築賞大賞及び第二十五回中部建築賞受賞。手がけた浦辺設計は倉敷に数々の名建築を造り、街並みを創造したことで有名。足助川の清流に沿って落ち着いた街並みの一角に、いくつもの拠点建築を設計。

足助に残る旅籠。宿場町として栄えた当時の面影を色濃く残している。▼